



製品名	インテグラルコート
種別	2液弱溶剤形上塗材保護コート
荷姿	16kg/セット
用途	屋根、外壁、付帯部
適用基材	各種上塗材(新生塗膜)

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	可使時間 (23°C)	間隔時間 (23°C)
素地調整	① 下地となる上塗材に付着しているゴミ・ホコリ・異物は取り除いてください。 ② 下地となる上塗材の間隔時間を考慮し、日数をあけずに施工してください。 ③ 塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
保護コート	インテグラルコート	主剤 14.0kg	0.12~0.18kg (88~133m ²)	刷毛 中毛ローラー ※毛丈20mm以上 エアレス	1	6時間以内	—
		硬化剤 2.0kg					
	無希釈	—					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々な条件により各々多少の誤差が生じる場合があります。
- **インテグラルコートは希釈せずに毛丈20mm以上のローラーで塗り残しのないよう施工してください。**
- **インテグラルコートは意匠性サイディングや窯業系サイディングへの直接塗布は避けてください。**
- **艶調製品は艶ムラにならないよう、特に足場つなぎ部分などの塗り継ぎに注意し、面で切って施工してください。**
- **インテグラルコートは透明ですが、上塗材塗膜の色調や仕上がり感が変わって見える場合があります。試験施工等であらかじめご確認ください。**
- 製品は2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守って混合し、十分に攪拌してください。
- 混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合は、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- 弱溶剤形製品を取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り、十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなる上、塗膜性能に影響が出ます。
- エアレスでの施工は、飛散により周囲を汚し、トラブルの原因になる場合があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合は、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では、早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。
- 材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は、容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。



製品名	インテグラルコートアクア
種別	2液水性形上塗材保護コート
荷姿	16.2kg/セット
用途	屋根、外壁、付帯部
適用基材	各種上塗材(新生塗膜)

工程	材料	調合	所要量/m ² /回 (施工面積)	施工器具	塗回数	可使時間 (23°C)	間隔時間 (23°C)
素地調整	① 下地となる上塗材に付着しているゴミ・ホコリ・異物は取り除いてください。 ② 下地となる上塗材の間隔時間を考慮し、日数をあけずに施工してください。 ③ 塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
保護コート	インテグラルコート アクア	主 剤 15.0kg 硬化剤 1.2kg	0.12~0.18kg (90~135m ²)	刷毛 中毛ローラー ※毛丈20mm以上 エアレス	1	6時間以内	—
	無希釈	—					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々な条件により各々多少の誤差が生じる場合があります。
- インテグラルコートは希釈せずに毛丈20mm以上のローラーで塗り残しのないよう施工してください。
- 溝の深いサイディング等に塗料が溜まると白濁して硬化します。塗料だまりのないよう、あらかじめ刷毛で拾い塗りしてください。
- インテグラルコートは意匠性サイディングや窯業系サイディングへの直接塗布は避けてください。
- 艶調製品は艶ムラにならないよう、特に足場つなぎ部分などの塗り継ぎに注意し、面で切って施工してください。
- インテグラルコートは透明ですが、上塗材塗膜の色調や仕上がり感が変わって見える場合があります。試験施工等であらかじめご確認ください。
- 製品は2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守って混合し、十分に攪拌してください。
- 混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合は、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り、十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなる上、塗膜性能に影響が出ます。
- エアレスでの施工は、飛散により周囲を汚し、トラブルの原因になる場合があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合は、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では、早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。
- 材料は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は、容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。